

第3分科会第4回 意見一覧（2020年7月15日）

番号	分野・政策等	意見内容	姫路市対応
1	健康福祉分野 分野目標	1月の中間報告時に意見があったが、キーワードとして「外国人」が入っていないのが気がかりである。 住まれている外国人の方も一緒に協働していくという意味では、分野目標に含めてもよいのではないか。 全体会で出された意見について、分科会としてどのように考えたかが重要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人に対し前提となる考え方については、基本構想「行動指針」の中で、多様な個性が輝く「人」づくりとして、「年齢、性別、国籍、障害の有無等に関係なく、市民一人ひとりを地域社会の担い手として認め合い、それぞれが持つ能力や経験を最大限に発揮しながら輝いて生きる人をもとに育てます。」と整理している。 ・健康福祉分野目標では、各政策の主な対象となる「高齢者、障害者、子ども、生活困窮者」を表現するよう整理しており、日本人、外国人を問わず「すべての人」を福祉の対象と考えている。
2	健康福祉分野 分野目標	外国人の方が読まれた際に、「すべての人」という表現に対して、自分達が含まれていると思いきくいのではないか。	
3	健康福祉分野 分野目標	外国人はすべてにかかってくるので、前提として、総合計画の最初に触れる形でもよいのではないか。	
4	健康福祉分野 分野目標	姫路を訪れた外国人観光客が体調を崩すことも考えられるので、在住外国人に限定するのも難しいのではないか。	

番号	分野・政策等	意見内容	姫路市対応
5	健康福祉分野 分野目標	(背景の3つ目の内容に関して) ノーマライゼーションの定義について、厚生労働省の定義を踏まえた上で、分かりやすい表現として「普通の生活」と記載してあるのか。	厚生労働省の定義を参考に「障害のある人もない人も、互いに支え合い、地域で生き生きと明るく豊かに暮らしていける社会を目指す」に改める。
6	健康福祉分野 分野目標	(背景の7つ目の内容に関して) 「住民の健康の脅威となっています」となっているが、今回の新型コロナウイルス感染症は命にも関わることなので、「住民の命や健康の脅威となっています」の表現の方がふさわしいのではないか。	ご意見のとおり、背景を「市民の命や健康の脅威となっています」に改める。
7	健康福祉分野 政策1 方向性イ・ウ	方向性のイとウについては、民生委員・児童委員や自治会など地域の主体に関するもので、どちらも地域の福祉力の向上に通じる感じた。また、ウの地域の福祉力の向上は「活力」に近いのではないか。	方向性イ・ウについては、「地域づくり」に位置付ける「方向性」(身近な地域の福祉力の向上)として整理し、「住民が主体的に地域福祉課題を解決することができるよう、民生委員・児童委員や自治会に加え、地域で活躍する若者や福祉ボランティア、NPO法人などの活動を支援するとともに、これら地域福祉に携わる団体や、医療・福祉関係者など多様な主体が連携し、日頃から身近に相談しやすい体制づくりを進め、地域の福祉力の向上を図ります。」に改める。

番号	分野・政策等	意見内容	姫路市対応
8	健康福祉分野 政策1 方向性ア・ウ 市民、地域コ ミュニティ、 企業・団体に 期待すること	「地域福祉活動」と「福祉活動」では、「地域」という文言に違いがあるが文脈で整理しているのか。	ご意見のとおり、いずれの福祉活動も本政策においては、地域福祉活動であるため、文脈に沿って、基本は「地域福祉活動」とし、文中に「地域」の表記がある場合は、「福祉活動」となるように改める。
9	健康福祉分野 政策2 方向性カ	社会的障壁（バリア）とあるが、（バリア）と書くと物理的な障壁のことだけを指しているかのように思える。	ご意見のとおり、（バリア）という文言を削除するよう改める。
10	健康福祉分野 政策2 方向性ウ	「人、地域、活力、土台」に全て分けることは難しいと感じたが、方向性のウについては、読み手が「活力」と読めばそう読めるが、個人的には「土台」ではないかと感じた。障害者を支える「土台」としての支援が充実することで、社会参加が促進されていくのではないかと感じた。	ご意見のとおり、方向性ウ（障害特性に応じた支援の充実）については、障害者を支えていく基礎（制度）として捉え、方向性オとして「土台づくり」に位置付けるよう改める。
11	健康福祉分野 政策3 方向性エ 政策2 方向性オ	資料1－3（高齢者の政策）の方向性エと資料1－2（障害者の政策）の方向性オでは、どちらも先進的技術の活用に関する方向性だが、内容が一部違っているのみ。障害者と高齢者でもっと表現を変えてはどうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先端的技術の活用について、基本構想で示す「方向性」においては、障害者と高齢者に共通する部分もあると考えている。 ・ その具体的な手法については、障害者と高齢者それぞれの施策・事業の中で検討する。

番号	分野・政策等	意見内容	姫路市対応
12	健康福祉分野 政策4 方向性イ	方向性のイの2つ目に関して、子どもの貧困対策は、「活力」や「土台」に記載する方がふさわしいのではないか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見のとおり、方向性イ（身近な地域で支援を受けられる環境づくり）の2つ目については、特別な支援が必要な子どもや家庭を支えていく基礎と捉え、「方向性」（特別な支援が必要な子どもや家庭を支える環境づくり）と改めた上で、方向性カとして「土台づくり」に位置付ける。 ・また、これに伴い、方向性イ（ゆとりを持って子育てできる地域づくり）に改める。
13	健康福祉分野 政策4 方向性オ	現状と課題について、「子どもの生活に関する実態調査」の内容が書かれているが、それに対する方向性として、教育に関する内容も置くべきではないか。	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの貧困問題に対しては、方向性イの2つ目で整理している。（想定される取組として、子どもへの学習支援やひとり親への就労促進など） ・また、教育分野の政策1においても、経済的理由などによる教育格差の解消を「方向性」として整理しており、方向性を踏まえた取組を進めていく。
14	健康福祉分野 政策4	政策名が「子育て環境の充実」ということで、人的環境と物的環境ということで整合は取れているが、それにより子ども達がどうなっていくのかを表現できればより良くなるのではないか。	ご意見は、人的環境と物的環境が整った結果に関するもので、「目指す姿」の内容に該当するため、「子どもを安心して産み育てることができる環境が整い、子どもが地域の中で健やかに成長している。」に改める。

番号	分野・政策等	意見内容	姫路市対応
15	健康福祉分野 政策4 現状と課題	現状と課題について、貧困線未満という言葉が市民に伝わるのか。「いわゆる貧困線」といった表現の方がよいのではないか。	ご意見も踏まえながら、「税金や保険料などを差し引いた手取り収入が一定額未満である、いわゆる貧困線」に改める。
16	健康福祉分野 政策4 市民、地域コミュニティ、企業・団体に期待すること	市民、地域コミュニティ、企業・団体に期待することのうち、市民のところの「男性も積極的に子育てに取り組みましょう」の表現が他とレベルが違うのではないか。	ご意見も踏まえながら、男性に限った表現から、「子どもや子育て家庭を温かく見守り、変化に気づいた時には手を差し伸べましょう。」に改める。
17	健康福祉分野 政策5 方向性イ	(政策4の議論に関係して)保健所で母子の健康について様々な取組が行われていると思うが、母子の健康や相談といったことに包括的、ワンストップで対応していくといった場所はあるのか。	現在、思春期・妊娠期・子育て期等における切れ目のない支援など、包括的な支援拠点としての役割を持つ、(仮称)母子健康支援センターの整備を進めており、方向性イ(妊娠・出産と母子の健康を支える環境づくり)の1つ目に、「母子保健・思春期保健の包括的な支援拠点となる(仮称)母子健康支援センターを整備し、機能の充実を図るとともに、」
18	健康福祉分野 政策5 方向性イ	子育てに関係する相談等でどこに行けばよいのかが分かるように、総合福祉会館と同様に、母子健康支援センターの名称を出した方が分かりやすいのではないか。	」を追記する。

(参考) 他の分科会(第4回)での意見

番号	分野・政策等	意見内容	姫路市対応
1	健康福祉分野 政策4	児童虐待の防止、そのための市民ネットワーク(みんなで子育てをする)をつくり、地域で虐待防止に取り組み、地域で子どもを育てる、というような項目はどこにあるのか。特に虐待の防止は、深刻な人権問題で、一人でも防ぐことができれば、ネグレクトされる人をポジティブに変えるので未来の社会にとってプラスが大きいのではないか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見のとおり、児童虐待防止対策は重要な方向性であるため、政策4の方向性(特別な支援が必要な子どもや家庭を支える環境づくり)で整理しており、方向性を踏まえた取組を進めていく。 ・また、市民がつながり、地域で子育てをしていく観点から、市民や地域コミュニティの役割として、別紙のとおり、整理している。
2	観光・スポーツ分野 政策2 方向性	健康で長生き、という視点はあるか。キーワードとして必要かと思う。スポーツをなぜ振興するかと言うと、そういうことが目的だと思う。	スポーツ分野の政策1全体として、「健やかで充実した余暇を過ごす」ことを目指す姿に設定し、その実現に向けた方向性を整理している。また、健康寿命を伸ばしていくことについては、 <u>健康福祉分野の政策</u> においても整理しており、方向性を踏まえた取組を進めていく。